

学校だより

令和4(2022)年3月号
宝塚市立御殿山中学校

出会いを大切に

校長 前田 裕司

日差しもやわらかくなり、日ごとに春の訪れが感じられる季節になりました。

3年生はいよいよ10日が卒業式です。今年も、新型コロナウイルス感染症の影響もあり学習面、学校行事、部活動において様々な制限がありながらの学校生活となりましたが、みなさんはどの場面でも真面目な態度で笑顔を絶やさず、今そのときにできることを一生懸命に取り組み、御殿山中学校の最上級生として立派な姿を見せてくれました。卒業式はみなさんが受ける義務教育最後の授業になりますが、有終の美を飾ってくれることを期待しています。

4月からはそれぞれ新しい環境で新しい生活が始まりますが、みなさんには人と人の出会いを大切にしてほしいと思います。

人生80年として、人が一生で出会う人の数は、

同じ学校や職場、近所の人	3,000人
親しく会話を持つ人	300人
友人と呼べる人	30人
親友と呼べる人	3人



という説があります。

日本の人口が、現在約1億2500万人です。(世界の人口は約79億人)

人の出会いの確率はというと

同じ学校や職場、近所の人とは	1/42,000
親しく会話を持つ人とは	1/420,000
友人と呼べる人とは	1/4,200,000
親友と呼べる人とは	1/42,000,000

となります。みなさんがこの御殿山中で出会っていることは、とても貴重な出会いなのです。「こいつとは出会いたくなかった」と今は思っている人もいるかもしれませんが、自分とはちがった価値観や考え方を知るだけでも、後で振り返ると自分の学びや自分を成長させてくれる材料になっているものです。

だからこそ、一つ一つの出会いに感謝して、その出会いを大切にしていってほしいと思っています。新しい環境でも、人の出会いを大切に、みなさんが自分らしく活躍してくれることを祈っています。

オンラインで授業配信中です

2月28日(月)から黒板を定点撮影したオンライン授業を、1日1時間から4時間配信しています。あくまでもオンライン用の授業ではなく、教室の授業を配信しているため、見づらい部分があるかもしれません。何かありましたら、学校までご連絡ください。

表彰です!

- 明るい選挙啓発ポスターコンクール
 - 優秀賞 1年
- コーラス部
 - HYOGO VOCAL ENSEMBLE CONTEST 銅賞
- 兵庫県中学生作曲コンクール
 - 佳作 2年

令和4(2022)年度 行事予定について

来年度の学校行事を下記のとおり計画しています。なお、今後の感染状況等によっては、変更となる可能性があります。ご了承ください。

- 始業式・着任式 4月7日(木)
- 入学式 4月11日(月) ※保護者の参列は1名
- 3年:全国学力学習状況調査 4月19日(火)
- 3年:学年懇談会 4月28日(木)
- 2年:学年懇談会 5月12日(木)
- 1年:学年懇談会 5月13日(金)
- 3年:修学旅行 5月26日(木)~28日(土)
- 1年:転地学習 6月3日(金)~4日(土)
- 体育大会 6月11日(土) (予備日12日(月))
- 1学期終業式 7月20日(水)
- 2学期始業式 8月29日(月)
- GOTEフェス(文化発表会) 10月27日(木)~28日(金)
- 2学期終業式 12月23日(金)
- 3学期始業式 1月10日(火)
- 卒業証書授与式 3月9日(木)
- 修業式 3月24日(金)

※現時点で未定のもの

- 2年:トライやる・ウィーク 10月3日(月)~7日(金)で検討中

今年度の学校評価について

12月の学校評価アンケート(生徒・保護者・教職員)の資料をもとに今年度の取り組みをまとめました。また、今年度は学校関係者評価委員会を紙面開催の形式で行い、ご意見をいただきました。詳細については、裏面に掲載していますので、ご覧ください。貴重なご意見をありがとうございました。今後も教育内容の改善に努めて参ります。

2月、3年生全クラスの国語の授業に、前校長先生が卒業句会の特別授業をしてくださいました!



日	曜	3月学校行事
1	火	完全下校17:30
2	水	職員会議
3	木	生徒会専門委員会
4	金	3年生を送る会
5	土	新入生物品販売(午前)
6	日	通信制面接試験
7	月	
8	火	卒業式予行 3年給食最終日
9	水	卒業式準備
10	木	第36回卒業証書授与式
11	金	公立一般学力検査
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	市内一斉防犯活動
16	水	職員研修
17	木	
18	金	期末懇談会 一般学力検査合格発表
19	土	
20	日	
21	月	春分の日
22	火	
23	水	給食最終日
24	木	大掃除
25	金	修業式 職員会議
26	土	春季休業(~4/6まで)
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

【4月の予定】

- ・新入生登校日(6)
- ・始業式、着任式、職員会議(7)
- ・入学式準備(8)
- ・入学式(11)
- ・身体計測等、給食開始(13)
- ・職員会議、職員研修、ノー部活デー(13)
- ・離任式(14)
- ・1年心臓検診(18)
- ・3年全国学力・学習状況調査(19)
- ・授業参観、学級懇談(20)
- ・内科検診(21)
- ・尿検査(26・27)
- ・1・3年眼科検診(27)
- ・3年学年懇談会(28)

令和3年度(2021年度) 学校評価

評価の観点	学校の取組状況・改善の方策	評価項目ごとの学校関係者評価
開かれた学校づくり	コロナ禍にあり、授業参観、オープンスクール等はそのときの状況を踏まえて今年度は2回実施できた。保護者からは昨年、一昨年に比べて「学校行事の充実」を望む声が多い。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でもオープンスクールや合唱コンクールで子どもたちの様子が見られてありがたかった。 ・スクリレの導入でカラーデータの学校だよりが見られるなど情報発信に工夫が見られる。 ・小規模や分散型等の工夫で今後もできるだけ行事実施の可能性を探って欲しい。
生徒指導	生徒の課題だけでなく、保護者の課題が生徒に影響している事例も多く、関係機関とも連携しながら対応しており、現在は大事には至っていない。しかしながら、根本的な解決にはなっていないため継続した見守りや支援が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校、保健室登校等個々にあった指導を引き続きお願いしたいと思います。 ・保護者の課題は即生徒に大きな影響を及ぼすため、専門の機関との連携を大切に解決に向かうようお願いしたい。 ・今後も教師間の相互理解を深めていただきたい。
進路指導	コロナ禍のため、1回目の進路説明会が実施できず紙面での説明になった。体験活動は工夫しながらできる限り実施した。トライやる・ウィークは事業所から本校に来ていただき、新しい形で実施することができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の希望と現実との開きについて苦勞されることが多いのではないのでしょうか。 ・トライやる・ウィークの校内実施は大変成果があった。 ・できる形で進路について考える機会が作れて良かった。
自ら学び自ら考える力の育成	GIGA スクール構想が前倒しとなり、生徒一人ひとりにタブレットが配付され、家庭とつなぐ実証実験を行った。今後は、ICT を活用した家庭学習の取組も考えていく必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの配付により学びの機会が広がったと思う。 ・タブレットの持ち帰りの問題点が気になった。良い解決手段を探っていただきたい。 ・タブレットをもっと活用していくべきだと思います。 ・新しい教育教材に対応できない生徒へのフォローをお願いします。
基礎基本の定着と個に応じた学習指導の徹底	生徒アンケートでは2割が「学校の勉強はあまりわからない」と答えており、困り感のある生徒への支援に課題がある。評価方法が変更されたことについては年度初めに生徒・保護者にも説明を行ったこともあり、大きな混乱はなかった。	<ul style="list-style-type: none"> ・つまづいている生徒は小学校でつまづいていると思うので教師間の小中の連携が大切だと思います。 ・時間をかければ理解できるタイプの生徒へのフォローが必要だと思います。 ・評価方法が変わり通塾生徒とそうでない生徒の差が広がるのではないかな。
道徳教育	今年度は1年生で公開授業を行い、校内研修を実施した。今後も、教材の扱い方、授業の核となる考え方の研鑽が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・週に一度道徳の時間が設けられていて計画的に指導されていると思います。 ・いじめや人権に関する内容も大切なので引き続き年間を通して力を注いで欲しい。 ・新しい教材、考える教材をどんどん取り入れてください。
人権・同和教育	いじめアンケートは学期に1回行い、生徒の状況把握につとめた。また、命の大切さを考える授業など、人権に関わる実践を着実にやっている。子どものいのち・人権を尊重した指導者としての姿勢についても研修を重ねた。	<ul style="list-style-type: none"> ・命の尊さを学ぶことは大人も子どもも継続していく重要なテーマだと思いますので今後も継続して取り組んでいただきたいと思う。 ・いじめアンケートが定期的に行われているのはとても良いと思う。 ・記名制でなかなか正直に書けない生徒への別のアプローチも必要ではないかな。
特別支援教育	特別支援教育コーディネータを中心に個々の生徒について共通理解を図れており、特性のある生徒の対応も適切に行えている。	<ul style="list-style-type: none"> ・特性のある生徒も落ち着いていると聞いています。 ・学習室を見学したとき、生徒がいきいきと学習し、生徒に自信が感じられているのが良かった。
保幼小中連携	コロナ禍により、子どもどうし、教員間の交流は十分には行えていないが、今年度はオンラインで「赤ちゃん学校へ行こう」の取組が行えた。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため難しいと思うが、オンライン等を活用してコロナが終息した後につながるような取組を引き続きお願いしたいと思います。

学校評価の実施方法についての学校関係者評価

- ・アンケート資料により適切に評価されていると思います。
- ・普段見えない部分が言語化され可視化されることで、良い点や改善点が見えてくるのは良いと思います。アンケートを実施したにとどまらず、今後の学校運営に活かしていただきたいと思います。
- ・スクリレの導入はとてもありがたかった。
- ・保護者アンケートの中には厳しい意見もあり、すべてに対応するのは大変ですが新年度に向けてできることから学校の課題として教育活動を展開して欲しいと思います。
- ・生徒や保護者から多くの記述された意見を読ませていただき、感じたことを出しやすい方法になっていると感じました。

総合的な学校関係者評価

- ・コロナ禍でありながら、概ね8割の生徒が学校へ行くのが楽しいと感じ、学校行事や委員会活動に積極的に参加していると答えていることから、学校の雰囲気がいいのが感じられます。
- ・「先生が気持ちを理解してくれている」と感じている生徒が多く信頼関係が築けているのがうかがえます。
- ・毎日の荷物が重いので子どもへの負担を減らして欲しい。
- ・学校を訪問したときに落ち着いた雰囲気ではっとしました。アンケートでの困りごとについて、解決できそうなところは改善して欲しい。
- ・毎朝登校する生徒を見ていると、服装の乱れもなく、生徒指導もきっちりできていていると思われ、学習面でも努力されているのがよくわかります。
- ・生徒の自主性、主体性が育まれる学校教育、学校生活を目指しておられると思いますので、引き続き人間力を高める教育者として生徒の皆さんと関わっていただければ有り難いです。